

のデメリ
下は、い
や周知の
実だが、
アプライ
ローン問
に象徴さ
る。問題
は次の様
指摘され
。金融機
のインセ
タイプ
でモラル
サイドを
融市場に
タゴニス
存在し、
賣の意思
は依存で
接金融が
潮流の中
しての証
市場型間
識するこ
証券化に
イムロー
券化の光
分が出て
うことで

定とファイナンス戦略(日刊工業新聞社)。

独自デザインで付加価値化

インキュベーションとは卵のふ化のことで、ビジネス用語では創業間もない事業主を応援する施設や仕組みを指します。主に行政が運営、全国各地に存在しています。

電飾卸のA社は、製品を中国から仕入れて日本の小売店に販売しています。近年価格競争が激化し、他業態からの参入や、大手小売店が直で中国に買い付ける中抜き状況が増え、社長は危機感を感じていました。

【診断士】

【診断の目】

中小企業診断士のB氏に相談すると、他社製品と差別化するため独自製品をつくるべきだというアドバイスを受けました。市場に出回る製品の多くは、自社製品も含め中国でデザインされており、日本人の感覚とズレがありました。日本に合ったデザインの製品ができれば、競合他社に対して優位に立てます。A社はデザイナーを雇ったり、デザイン事務所に依頼したりする資金的余裕がありませんでした。その時、

中小企業診断士から紹介を受けたのは、デザイン専門のインキュベーション施設でした。そのインキュベーション施設は廃校を利用し、創業したばかりの約20人の若手デザイナーに安価で事務所や工房を提供、経営能力を身につける支援も行っています。3年間の期限付きですが、デザイナーはその間に、企業との取引を増やして自立しようとしています。企業にとっては、さまざまな分野のデザイナーとワンストップで知り合うことができ、通常のデザイン事務所よりも安価な費用でデザインを書いてもらうことができます。

A社は早速インキュベーション施設に出向き、3人のデザイナーからデザイン画を提供してもらい、うち1人と契約しました。日本人の感覚に合った製品を開発したところ、大きな反響を呼び、ビジネスを拡大することができました。経営資源に制約のある中小企業は、インキュベーションの活用法があることを知っておいて損はないでしょう。

(中小企業診断士・東條裕一)

て続けるオープン。

各店舗とも年中無休で、遅い時間帯まで営業。日用雑貨から食品、家電、ゲーム、化粧品まで幅広く扱う庶民感覚の形態と入りやすい店舗づくりで近隣住民から親しまれ、最盛期の00年には年売上高約30億円規模に成長した。サンタワーズ店は世田谷区三軒茶屋2丁目、それ以外の店舗はすべて

が、それを承諾する金融機関はなく、さらに資金繰りは悪化。08年

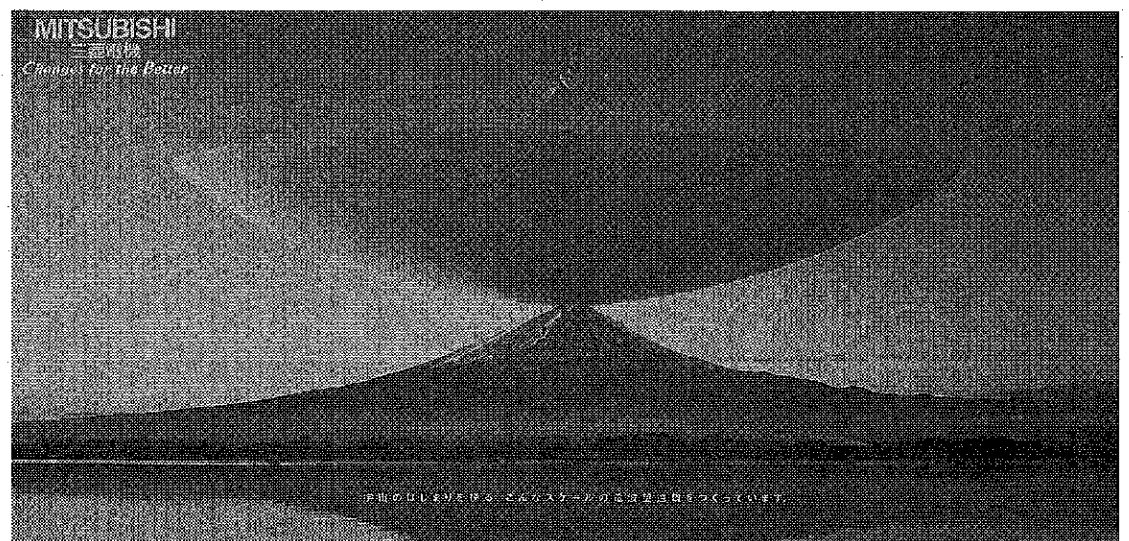
8月から12月にかけて総額1億2100万円の返済が迫り来る状況となっていた。

そこで再度、金融機関へ融資を要請したところ、8月末に二つの金融機関から計9500万円の融資が実行された。しかし、この調達額では焼け石に水。その後、事

2009年
日本産業広告賞
参加作品募集中

2008年 日本産業広告賞作品集

日刊工業新聞広告大賞



情報誌部門 第1部 第1席

お申込みは FAX 03 5644 7300